

交渉情報	NO.15	信越支社郵便事業本部 オペレーション部
JP労組 信越地方本部	2014年9月9日	添付資料:78枚

コメゆうパック差立オペレーションの実施について

信越支社郵便事業本部オペレーション部は、本日（9月9日）「コメゆうパック差立オペレーションの実施」について地方本部に説明してきました。

標記概要は、新潟県各地域における「コメゆうパック」等の取扱増加に対応するため、臨時運送施設を設定し、円滑かつ効率的な運送を確保するものです。

なお、今年度のコメゆうパックの取扱個数は昨年並みの取扱量を想定しています。

【コメゆうパック処理計画等】

局・分室	期間中の処理数	最大処理数 (個/日)	要員配置 (時間帯・人/日)
長岡	123,000 個	5,500 個	8H×10 人 4H×10 人
高田	29,000 個	2,000 個	3H×1 人
新潟	11,000 個	700 個	現時点では不明
新潟東港分室	61,000 個	3,500 個	現時点では不明
新潟中央局 新分室	61,000 個	3,500 個	8H×6 人 7H×6 人 4H×4 人

支社資料は別紙1～3が方面別差立オペレーション計画並びにパレット作成方一覧、また臨時運送便ダイヤが記載されていますので、参照願います。

今年度についても荷量の増加に対応するため、運送便の増強を実施し「早い集荷(午前中集荷)」及び「重量物ゆうパック取扱い(余裕承諾)」を行い、既定地域内上一便・既定回送便及び管外既定運送便を有効活用し、高額となる夜間帯運送費の削減及び管外到着局における繁忙時間帯の業務緩和に取り組むとしています。

また、今年度においては新潟中央局新分室を新たに開設しハーモニックにも対応しながら期間を延長して年末繁忙まで対応します。

94地域では、関東・東京方面あてドライゆうパックを高田局で区分し、直行便により管外差立を実施します。

例年、問題となりますパレット不足について支社に質したところ本社でお中元期に使用したレンタルパレットを約10,000台買い取り各地方の対応にあたるとしていますが、また信越ではりんご対応まで含めた約7000台(去年は約4000台)去年の約倍の台数を確保し対応に万全を期したいとしています。

実施期間について、94地域は9月17日(水)から10月31日(金)まで、ただし差立荷量の推移により延長する場合あり、95地域も9月17日(水)から11月19日(水)までとしています。

なお、この実施に関してサービス表の改正はありません。

地本は、(1)集荷時におけるお客様との余裕承諾確認のトラブルが発生しないよう職場周知を徹底すること、(2)局舎での保管スペースの確保、(3)施策実施局の要員確保及び配置に万全を期すこと(4)直積などパレット不足の解消を要請し、確認いたしました。

【労使対応】 情報提供